

工業部会通信

相模原商工会議所
工業部会発行

編集
かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042(851)2021
プリントしてご自由にお読み下さい。



講演する伊藤主席研究員



企業経営のトラブル対策について話す高瀬弁護士

市内工業人が集結 「会員交流大会」開かれる

緑区橋本で開催 過去最多数が参加



初参加者も多く見られた交流会

相模原の工業人たちに垣根を越えた交流を持ってもらおうと、相模原商工会議所・工業部会（甲斐美利部会長＝向洋技研社長）は9日、社のホールはしもと・多目的ホールで「会員交流大会」を開いた。部会単独で交流会を開催するのは3回目。工業関連の異業種58人が参加。一般財団法人・生物科学安全研究所（RIAS）や弁護士によるセミナーも行われた。

開会のあいさつで甲斐部会長は「回を重ねるごとに（交流会の）内容がよくなっている。異業種交流を各企業のイノベーションのきっかけにして頂きたい」と、あいさつした。

前半のミニセミナーではRIAS主席研究員の伊藤雅也氏が登壇した。「工場・事業場排水の新たな管理手法について/生物応答を利用したWET試験」をテーマに話した。

伊藤氏によると、現在の排水規制では、国内で使用されている8000以上ある化学物質のなかで、42項目しか検査対象としていない。しかし、排水中には意図しないでつくられた混合物が入ることもあり、生態系への影響も懸念されるという。

それに、伊藤氏は、

欧州などで行われている排水試験の評価方法「WET」を紹介。これは原因物質の特定は行わず毒性の特徴を明らかにすることで、生態系への影響をみる手法という。

伊藤氏は「国際的な傾向として個別の濃度による規制から総合影響の規制へと移り変わりつつある」と強調していた。

続いて、弁護士法人・高瀬総合法律事務所の高瀬弁護士は、「法的紛争に至る前に事前準備で予防することが大切になってくる」と話していた。

会員交流大会
ビジネス以外の話も盛り上がり

一方、セミナーに続いて開かれた交流会では、ビジネスや、セミナー講師との情報交換、生活・趣味などテーマごとのテーブルが用意され、参加者は関心があるテーブルに集まり交流を深めていた。



ボードを確認する参加者

当日は相模原市からも技術開発を支援する制度の紹介もあった。交流会を企画した工業部会・KIZUNAプロジェクトの那須隆仁委員長（三恵エンジニアリング専務）は、「今回は会場が駅から近かったこともあり、多くの方にご参加いただいた。来年度もこの会場で行っていきたい。商工会議所工業部会が新たな交流の拠点になれば」と話した。

今回は、津久井・城山・相模湖・藤野の各商工会の協力もあり、同地区からの参加もあった。初参加者も19名と目立ち、積極的に交流を図っていた。

また、参加者全員には、情報発信のツールとして交流シートを配布。会場内の掲示板に貼り、交流相手を探せるような演出もあった。

シートには得意とする技術のPRや市内協力企業の募集、技術相談、海外事業の情報などビジネスに関するもの、他、野球、ゴルフ、乗り物、メカニクスなどの趣味の話などが記載。参加者は思い思いにPRしていた。

松岡康彦・工業部会副部会長は、「交流の輪が着実に広がっている。最終的には工業部会に所属する全会員にご参加いただきたい」と述べていた。

「雪かき用アタッチメント」 旭フォークが共同開発

工業部会員で建設機械の販売、レンタルを手掛ける旭フォークリフト（相模原市中央区田名、042-762-4630）は、金属加工工業の共同テクニカル（同市中央区）と「雪かきアタッチメント」を共同開発した。フォークリフトに簡単に装着して雪を追い出す「雪かき用バケット」だ。

フォークリフト専門企業とモノづくり企業がタッグを組んだ。県内では昨年、大雪のために業務中断を強いられた企業が少なくない。同製品は、すでに昨年末から販売を始めたが、注文が相次いでいるという。

横江利夫社長によると、雪かき用バケットは

他社でも販売しているが、製品の重量が1000キロ以上で、装着に手間がかかっていた。価格も高いという。

その点、共同開発した製品は、共同テクニカルの加工技術を駆使して機能は維持しながら構造をシンプル化。結果的に重量を50キロ未満に抑えた。



設置が容易というアタッチメント

メーカー問わず1トン〜2.5トンのフォークリフトに対応。価格は6万9800円。1カ月1万5000円からのレンタルも始める。

美しい時代へ— 東急グループ

Town Value-up Management

タウンバリューアップマネジメント

街の新たな価値創造をめざして

- 街並の美観向上
- 定住人口の増加
- 来街者の増加
- 資産価値の向上

Town Value-up Management

東急建設株式会社
http://www.tokyu-cnst.co.jp/